

## ■決算の概況

当中間期の総売上高は、春先は好調に推移したものの、夏場の天候不順等により季節商品の売上が低調となり、苦戦を強いられましたが、前期出店した16店舗のフル稼働と当中間期の新規出店の寄与から**1,421億05百万円**となり、**前年同期比2.2%増加**しました。一方、既存店売上高は、客単価が0.3%上昇しましたが、客数が0.8%減少したことから、**1,346億87百万円**となり、**前年同期比0.5%減少**になりました。

営業利益は**56億16百万円**で、**前年同期比85.0%増加**しました。これは、直買輸入商品売上構成比が16.7%と前年同期比1.9ポイント上昇したこと等により、売上総利益率が30.1%と前年同期比0.9ポイント改善したこと等から、売上総利益が428億30百万円となり、前年同期比5.4%増加し、また、営業収入（賃貸収入）も、前年同期比15億88百万円と増加した一方、経費の節約に努めた

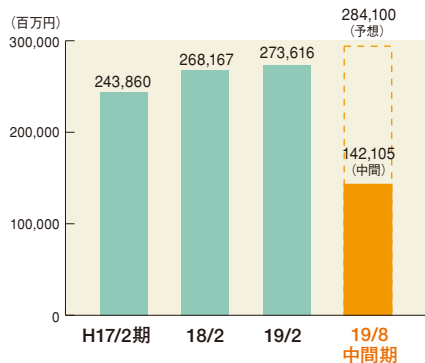
結果、販売費及び一般管理費の増加が前年同期比12億06百万円、2.9%の増加にとどまったこと等によるものです。

経常利益は**49億24百万円**で、**前年同期比161.7%増加**しました。これは営業利益が25億80百万円増加したことと、前年同期に計上したデリバティブ評価損5億48百万円がなくなったこと等によりです。

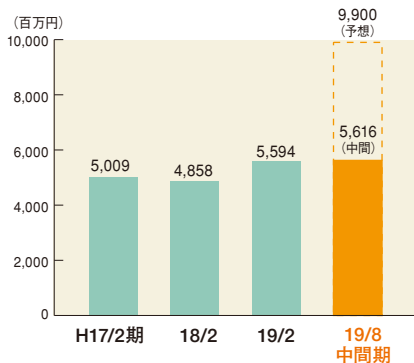
中間純利益は**13億40百万円**で、**前年同期比43億41百万円増加**しました。これは、経常利益が30億42百万円増加したほか、特別損失で減損損失が24億56百万円減少したこと等によるものです。

通期の業績見通しにつきましては、**売上高2,841億円（前期比3.8%増）、経常利益80億円（同120.3%増）、当期純利益30億円（同820.2%増）**と見込んでおります。

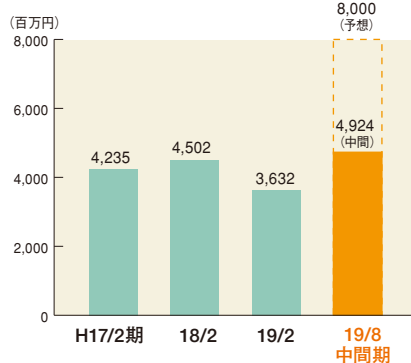
### ■売上高



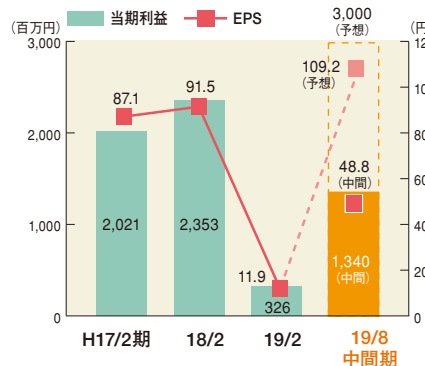
### ■営業利益推移



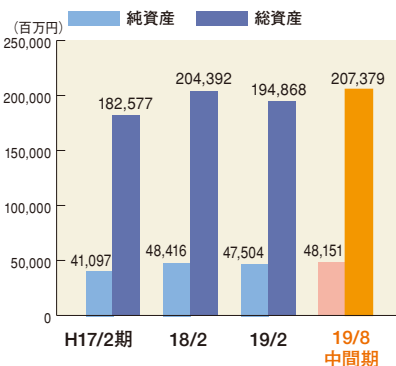
### ■経常利益推移



### ■当期利益 / 一株当たり当期利益 (EPS)



### ■総資産 / 純資産



### ■自己資本比率

